

令和6年度 第1回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和6年5月28日（火） 11時00分～12時00分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 池田太持委員、昌子 誠委員、宮廻智美委員、大谷みどり委員
（欠席：鷗鷗 順委員）
 - (2) 事務局 多々納雄二校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長、杉尾裕邦総務主任
- 4 議 題
 - (1) 会長、副会長の選出
 - (2) 学校運営方針について
 - (3) その他
- 5 議事の要旨
 - (1) 会長、副会長の選出
会長に大谷みどり委員、副会長に昌子 誠委員を選出した。
 - (2) 学校運営方針について
案のとおり承認した。
 - (3) その他
案件は無かった。
- 6 会議経過
 - (1) 会長、副会長の選出
 - ・ 会長、副会長とも、委員より立候補または推薦の申し出はなかった。
 - ・ 事務局より案を提示し、案のとおり承認した。
 - (2) 学校運営方針について
委員から次のような意見があった。
 - ・ 外国語指導助手（ALT）の常駐化が実現することについては、大きなチャンスだと思ふ。英語能力だけでなく、コミュニケーション能力の向上も期待できる。異文化と接することによって松江の魅力を再発見することもあるだろう。アニメやポップカルチャーも含め、あらゆる日本の文化を通して交流を深めてもらいたい。
 - ・ 昨年、児童クラブのクリスマス会に生徒も参加してもらった。児童も大変喜んでおり、また来てほしいと言っている。地域の中での関わりがあることはお互いに大事なことであり、一緒に盛り上げていけるとよい。反面、以前に比べると地域における皆美が丘女子高校の印象が薄れてきた感もある。例えばロードレースや体育祭などの学校行事を地域で応援するようなことはなくなってきた。入学式や卒業式に地

域代表を招待することもしなくなった。以前、松浦前市長に、皆美が丘女子高を男女共学化し地元の島根大学への入学を目指すことに力を入れてはどうかと提案したことがあった。小・中・高・大と、地域の繋がりを大切にしながら成長していく場をつくることも大切だと思っただけのこと。時代の流れもあるだろうが、そのような観点も必要かと思う。

- ・ 本庄地区でこども食堂の運営に関わるなど、地域の繋がりを実践している生徒もある。そういった自主性は大事に見守っていききたい。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 予定されている外国語指導助手はアメリカ合衆国出身の女性で年齢も若く、生徒に近い存在になると思っている。これを機会にホスピタリティの醸成にも期待したい。
- ・ 学校行事等における地域との関わりについては、コロナ禍の影響もあり、以前と変わってしまったこと、縮小されてしまったことも多々ある。ロードレースについては学校の近隣を走路としており、地域の皆様にも応援してもらいたい。広報の仕方を検討したい。児童クラブのクリスマス会では、生徒も児童の喜ぶ姿を見て思うところもあるのではないだろうか。卒業後の進路に保育・教育関係を選ぶきっかけにもなるだろう。様々な機会を与えていただくことが、生徒にとって良い経験となり成長に繋がっていく。地域活動を通して、地域の皆さんと関わっていくなかで学んでいくことも多いはずであり、今後ともご支援ご協力をいただきたい。

7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216